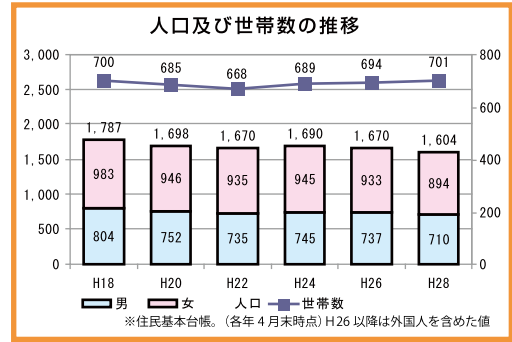


湊地区

『夢が持てる 元気がある 力を合わせる 笑顔でくらす 心の育つまちづくり』



計画期間：平成 25 年度～平成 29 年度

現況と課題

◆市来地域の市街地を含み市来農芸高校、工業団地、住宅地、周辺地域には農業地帯もある広い面積を有する地区です。国道 3 号線、県道 270 号線に接し、J R 市来駅もあり通勤、通学などの交通の利便性は優れています。◆土地区画整理事業により平向を中心に住宅化が進んでいますが、平成 18 年以降では、世帯数は横ばい、人口は減少傾向となっています。◆これまで市来神社が行っていた六月灯を、湊地区の夏祭りとして規模を拡大して開催し、たくさん子ども達が集まり賑わいました。今後も地区の一大行事として盛り立てていく必要があります。◆地区合同子ども会は、地引網の開催など、子ども達や保護者が興味を持つようなイベントの企画が重要と感じています。また、世代間交流を図る取組も必要です。◆周辺部の自家用車を持たない高齢者は、日常の買い物や通院などの移動で不便を感じており、使い勝手の良い交通移動手段が求められています。◆災害時における避難対策の強化を求める声が多く聞かれ、防災マップの作成や一人暮らしの高齢者への声かけなどは、地区全体としても取り組む必要があります。◆高齢者の健康、生きがいづくり対策では、参加者が少ない公民館もあるため地区全体の課題として取り組む必要があります。

基本的方向

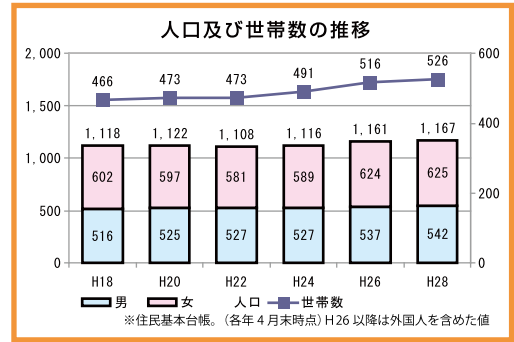
- I. 誰もが住んでよかったと思うまちづくり
- II. ふるさを思うまちづくり
- III. みんなが生き生きと暮らせるまちづくり
- IV. 健康ですこやかな環境の整ったまちづくり
- V. 子どもの笑い声がするまちづくり

主要施策

- I. 公共施設の整備、交通手段の整備、事務所や店舗の誘致要望、市来農芸高校との連携、地区内施設との連携、防災訓練の実施、防災マップの作成、避難場所表示看板設置、自主防災組織の整備、情報紙等による広報、通学路・地域の見守り巡回活動、一人暮らし高齢者の防犯、声かけ運動の推進
- II. ふるさとマップの作成、ふるさとの自然・文化探訪、歴史・遺跡の伝承、地区の祭りの継承、地区企業との連携
- III. 地区グラウンドゴルフ大会の開催、地区運動会の開催、ドッジボール大会の開催、長綱大会の開催、綱引き大会の開催
- IV. 河川・海の日作業、美化活動、不法投棄パトロールの実施、花いっぱい運動、自然環境対策の実施、ともしび活動、茶話会の実施、ウォーキング大会への参加、健康づくり学習会、地区敬老会
- V. あいさつ運動、七夕かざりの作成、世代間交流（昔の遊びやおもちゃ作り）、六月灯への協力、地区合同子ども会、一時預かり保育

湊町地区

『いきいきと元気があり、夢を語り、力を合わせ、伝統と文化を育み、安心安全で、明るく住みよい、まちづくり』



計画期間：平成26年度～平成30年度

現況と課題

◆市街地の南東部に位置し、土地区画整理事業により地区大部分が整然とした住宅地となり、市来庁舎をはじめ、行政、居住、商工観光業の中核を担う市街地で、交通の利便性は良い地区です。◆平成18年以降世帯数は増加し、人口は横ばいとなっており高齢者の独居世帯が増えています。自治公民館組織への加入率は市平均より高い状況です。◆市を代表する伝統行事である市来祇園祭は、毎年8月初旬にサマーフェスタと同時に開催され賑わっています。各公民館で伝統文化継承を図るとともに世代間交流にも役立っています。◆子ども達が二泊三日で市来保健センターに宿泊する「ふるさと塾」は、サポートする高齢者と一緒に料理や食事をし、いろいろな体験を共にすることで、健全育成のみならず世代間交流にも寄与しており、今後も継続して実施したいと考えています。◆「ころばん体操」は体を動かす目的とは別にお年寄りが話をする場としても好評で、多くの高齢者がいきいきと参加されています。今後は、特定健診の受診率向上を図り、その助成金で地区全体の合同茶話会の回数も増やしていきたいと考えています。◆高齢者の見守り活動は、民生委員とともしびグループの活動内容が重なり連携の在り方や、特に一人暮らしの高齢者についての現状把握がまちづくり協議会としても課題となっています。◆ふるさと美化活動では、昨年度から市来保健センターの花壇の手入れを行い、今後も清掃活動とともに街路樹や花壇を花で彩りたいと考えています。

基本的方向

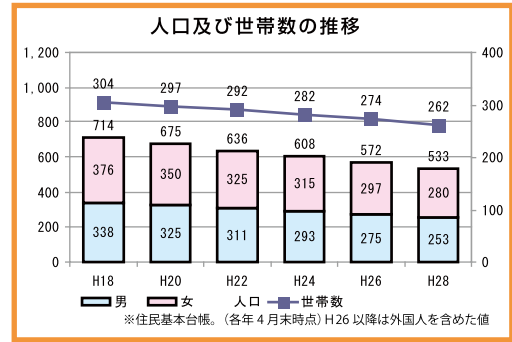
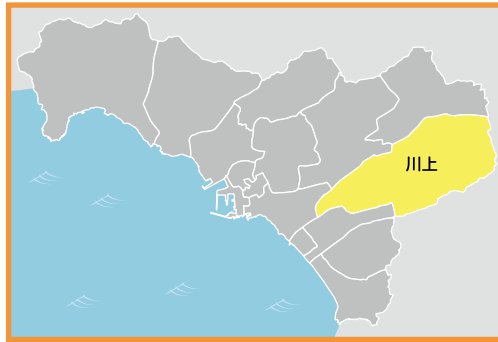
- I. 伝統と文化を育み安心安全で住み良いまちづくり
- II. 健康ですこやかな環境の整ったまちづくり
- III. 子どもの笑い声がするまちづくり
- IV. みんなが生き生きと暮らせるまちづくり

主要施策

- I. 公共施設等の整備、祇園祭の推進、海岸クリーン活動、美化活動、国道3号バイパス整備、防災点検活動、防犯パトロール、自主防災組織の活性化、情報紙・放送等による広報
- II. ともしびグループの活動推進、独居老人マップ作り、あいさつ声掛け運動、健康づくり教室開催、高齢者茶話会の充実
- III. 夏休みラジオ体操の充実、レクリエーション大会の活性化、インリーダー参加、リサイクル活動、祇園祭参加、ふるさと美化活動への積極参加、七夕飾り、灯籠作成、あいさつ運動、子ども会大会参加、ふるさと塾の実施
- IV. 地区運動会レクリエーション大会、グラウンドゴルフ大会、おせんしのレク大会、ゴルフ大会、パークゴルフ大会、いちきウォーキング大会

川上地区

『何でも自慢できる、安心して住める、みんなで支え合う川上地区』



計画期間：平成 25 年度～平成 29 年度

現況と課題

◆市の南東部に位置し、農林業従業者が多い農村地帯で、400年の伝統を誇る川上踊りが伝わる歴史ある地区です。◆平成18年以降では、人口、世帯数ともに減少傾向となっており、高齢化が進行するとともに一人世帯の高齢者も増加しています。◆利便性の良い旧地域館を活用し、住民の交流の場、物産販売所など多機能を有する地区コミュニティの拠点として「川上活性化センター」の早期設置を目指していますが、設備の改修や交流センターの活用方法などが課題となっています。◆地区内に来る移動販売の利用者が多く、今後は、買い物対策として、まちづくり協議会で運行する地区コミュニティバスについても検討が必要と考えています。◆川上踊り、自然、市来貝塚等があり、これらを観光振興に活用するための取組が必要と思われます。◆川上小学校の茶園を活用し、学校と地区が連携しお茶販売を行っています。今後は、川上の良質の水を販売するなど、自主財源を確保するための取組の検討を進める必要があります。◆自治公民館・川上小学校・川上郵便局・商店・企業・各種団体等との連携をより深め、未来の子供たちが喜んで川上を担っていけるような足がかりの構築が急務な課題となっています。

基本的方向

- I. 自治活動の推進（『活力ある地区コミュニティのまちづくり』、『安心・安全を自慢できるまちづくり』）
- II. 環境と郷づくり（『地区文化の伝承・創造で活力あるまちづくり』、『すばらしい自然環境を活かしたまちづくり』）
- III. 青少年健全育成（『子供たちが安心して過ごせる環境のまちづくり』）
- IV. 健康の増進と福祉（『老いも若きもいっしょに健康づくり、みんなで支え合う福祉のまちづくり』）

主要施策

- I. 川上地区物産館設置運営及び関連事業、地区リーダー育成事業、まちづくり指導員設置事業、まちづくり情報誌発行事業、川上マップ作成事業、定住促進対策事業、川上交流センター及び川上運動場管理運営業務等、市道等道路愛護・保全事業、二級河川等河川愛護・保全・活用事業、川上地区市水道水イメージアップ関連事業、市営ごみ最終処分場イメージアップ関連事業、地区花いっぱい事業、川上防災マップ新規作成事業、青色防犯灯新規設置及びLED交換事業、青色パトロール隊継続事業、消防後援会継続事業
- II. 川上踊り伝承事業、納涼大会伝承事業、川上ブランド品開発販売事業、新規野菜等導入促進事業、耕作放棄地活用事業、農機具あっせん・譲渡事業、農作業受託事業、竹林整備・利活用体験事業、木工・木炭利活用体験事業、鳥獣被害対策事業
- III. 川上小運動会開催事業、棒踊り伝承事業、イルミネーション設置事業、川上小・子供会・地区の連携事業、川上小・保育園・幼稚園・中学校・高校との連携事業、川上小特認校制度での転学指定校の拡充、川上小茶園維持管理事業、川上小お茶販売促進事業
- IV. 地区内バス導入運営事業、地区敬老会等開催事業、高齢者宅等安否見守り事業、高齢者等買物代行事業、生活必需品直販・移動販売事業、いきいき交流サロン事業、空き家活用促進事業、野草等販売促進事業、世代間交流促進事業

